



# リリースノート

## ASA r2

NetApp  
February 11, 2026

# 目次

リリースノート	1
ASA r2システム向けONTAP 9.18.1の新機能	1
データ保護	1
ネットワーク	1
SANデータ移行	1
セキュリティ	1
Storage Efficiency	1
ASA r2システム向けONTAP 9.17.1の新機能	2
SANデータ移行	2
データ保護	2
ストレージ管理	3
ASA R2システムのONTAP 9.16.1の新機能	3
システム	3
データ保護	3
プロトコルのサポート	3
Storage Efficiency	3
ASA R2システムのONTAP 9.16.0の新機能	4
システム	4
System Manager	4
ストレージ管理	4
データセキュリティ	5
ASA R2システムに影響するONTAPの制限とデフォルトの変更	5
ONTAPの制限に対する変更	5

# リリースノート

## ASA r2システム向けONTAP 9.18.1の新機能

ASA r2 システム用のONTAP 9.18.1 で利用できる新しい機能について説明します。

### データ保護

更新	説明
"SnapMirrorアクティブ同期構成のサポートが強化されました"	SnapMirrorアクティブ同期のサポートが 2 ノード クラスタから 4 ノード クラスタに拡大されました。

### ネットワーク

更新	説明
"IPsec ハードウェア オフロード IPv6 サポート"	IPsec ハードウェア オフロードのサポートが IPv6 に拡張されました。
"OpenSSL PQCアルゴリズム"	ONTAP は、SSL 用のポスト量子コンピューティング暗号化アルゴリズムをサポートしています。これらのアルゴリズムは、将来の潜在的な量子コンピューティング攻撃に対する追加の保護を提供し、SSL FIPS モードが無効になっている場合に利用できます。

### SANデータ移行

更新	説明
"ストレージVM移行のサポート"	ストレージ仮想マシン (VM) をASAクラスタからASA r2 クラスタに中断なく移行できます。これにより、データの整合性を維持し、アプリケーションに影響を与えずに、ブロックワークロードをASA r2 システムに移動できるようになります。移行プロセスは、既存のホスト マッピングと LUN 構成を維持するように設計されており、移行中の運用上の労力とリスクが軽減されます。

### セキュリティ

更新	説明
"自動ARP/AI有効化のサポート"	新しい 9.18.1 ASA r2 クラスタを初期化するか、クラスタを 9.18.1 にアップグレードすると、12 時間の猶予期間が経過した後、新しく作成されたすべてのストレージユニットで ARP/AI がデフォルトで自動的に有効化されます。猶予期間中に ARP/AI を無効化しない場合、猶予期間の終了時に、新しく作成されたストレージユニットに対してクラスタ全体で ARP/AI が有効化されます。

### Storage Efficiency

更新	説明
"NVMeコピーオフロードのサポート"	NVMe コピー オフロードにより、NVMe ホストはコピー操作をその CPU からONTAPストレージ コントローラの CPU にオフロードできるようになります。ホストは、CPU リソースをアプリケーション ワークロード用に予約しながら、ある NVMe 名前空間から別の NVMe 名前空間にデータをコピーできます。
"スナップショット予約の変更とスナップショットの自動削除のサポート"	スナップショット予約を変更し、自動スナップショット削除を有効にして、ASA r2 ストレージ ユニット内のスナップショットに使用されるスペースの量を制限できます。スナップショットの自動削除でスナップショット予約が設定されている場合、スナップショットによって使用されるスペースがスナップショット予約を超えると、古いスナップショットが自動的に削除されます。これにより、スナップショットがユーザーデータ用のストレージ ユニット内のスペースを消費しないようにして、アプリケーションの中断を防止できます。

## ASA r2システム向けONTAP 9.17.1の新機能

ASA r2 システム用のONTAP 9.17.1 で利用できる新しい機能について説明します。

### SANデータ移行

更新	説明
"サードパーティのストレージシステムからのデータ移行のサポート"	ASA r2 システムでは、Foreign LUN Import (FLI) を使用した SAN データ移行がサポートされています。FLIを使用すると、サードパーティ製ストレージシステム上の LUN からASA r2 システムにデータを移行できます。

### データ保護

更新	説明
"人工知能 (ARP/AI) による自律型ランサムウェア防御のサポート"	ARP/AIはASA r2ストレージユニットで有効化できます。ARP/AIは、学習期間なしで潜在的なランサムウェア攻撃を検出して報告することで、追加のデータ保護を提供します。
"SnapMirror Active SyncのNVMeプロトコルのサポート"	SnapMirror Active Syncは、2ノードONTAPクラスタにおけるNVMe/TCPおよびNVMe/FCホストアクセスによるVMwareワークロードのサポートを追加します。NVMe/TCPのVMwareワークロードサポートは、VMwareバグID: TR1049746の解決に依存します。
"レプリケーション関係における一貫性グループへのジオメトリ変更のサポート"	ASA r2 システムは、 SnapMirrorアクティブ同期関係を削除したり、非同期関係を破棄したりすることなく、 SnapMirrorアクティブ同期または非同期レプリケーション関係の整合性グループへのジオメトリ変更をサポートします。プライマリ整合性グループでジオメトリの変更が発生すると、その変更はセカンダリ整合性グループに複製されます。
"子コンシステンシグループの非同期レプリケーションのサポート"	非同期レプリケーション ポリシーは、階層関係の整合性グループに適用できます。

## ストレージ管理

更新	説明
"自動ワークロードバランスのサポート"	ワークロードは HA ペアのノード間で自動的に分散され、パフォーマンスとリソース使用率が最適化されます。

## ASA R2システムのONTAP 9.16.1の新機能

ASA R2システム向けのONTAP 9.16.1の新機能について説明します。

### システム

更新	説明
システム	<p>ONTAP 9.16.1 以降では、次のNetApp ASA r2 システムがサポートされています。これらのシステムは、SAN のみを利用するお客様のニーズに合わせた簡素化されたエクスペリエンスを実現する、統合されたハードウェアおよびソフトウェア ソリューションを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ASA A50</li><li>• ASA A30</li><li>• ASA A20</li><li>• ASA C30</li></ul>

### データ保護

更新	説明
"キー管理ツール間での暗号化キーの移行のサポート"	クラスタレベルでONTAPのオンボードキーマネージャを外部キー管理ツールに切り替える場合は、ONTAPのコマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して、暗号化キーをあるキー管理ツールから別のキー管理ツールに簡単に移行できます。
"階層型整合グループのサポート"	階層整合グループを使用すると、複数の子整合グループを含む親整合グループを作成できます。これにより、複雑なデータ構造のデータ保護と管理が簡易化されます。

### プロトコルのサポート

更新	説明
"NVMeによる対称アクティブ/アクティブマルチパスのサポート"	NVMe/FCとNVMe/TCPでは、対称アクティブ/アクティブアーキテクチャのマルチパスがサポートされるようになり、ホストとストレージの間のすべてのパスがアクティブ/最適化されます。

## Storage Efficiency

更新	説明
"ストレージユニットの自動リバランシングのサポート"	ONTAPは、パフォーマンスと容量利用率を最適化するために、ストレージアベイラビリティゾーン間でストレージユニットのリバランシングを自動的に行います。
"NVMeスペースの割り当て解除がデフォルトで有効"	NVMeネームスペースでは、スペースの割り当て解除（「ホールパンチング」や「UNMAP」とも呼ばれます）がデフォルトで有効になっています。スペースの割り当て解除を使用すると、ホストはネームスペースの未使用ブロックの割り当てを解除してスペースを再生できます。  これにより、ストレージ全体の効率が大幅に向上します。特に、データの回転率が高いファイルシステムでは顕著です。

## ASA R2システムのONTAP 9.16.0の新機能

ASA R2システム向けのONTAP 9.16.0の新機能について説明します。

### システム

更新	説明
システム	次のNetApp ASA r2 システムが利用可能です。これらのシステムは、SANのみを利用するお客様のニーズに合わせた簡素化されたエクスペリエンスを実現する、統合されたハードウェアおよびソフトウェアソリューションを提供します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• ASA A1K</li> <li>• ASA A70</li> <li>• ASA A90</li> </ul>

### System Manager

更新	説明
"SANのみのお客様向けの合理的なサポート"	System Managerは合理化されており、SAN環境でサポートされていない機能が認識されなくなり、重要なSAN機能がサポートされるようになりました。

### ストレージ管理

更新	説明
"シンプルなストレージ管理"	<p>ASA R2システムでは、ストレージユニットとコンシステンシグループを使用してストレージ管理を簡易化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ストレージユニット_を指定すると、SANホストでデータ処理に使用できるストレージスペースが確保されます。ストレージユニットとは、SCSIホストの場合はLUN、NVMeホストの場合はNVMeネームスペースを指します。</li> <li>• コンシステンシグループ_は、1つのユニットとして管理されるストレージユニットの集まりです。</li> </ul>

## データセキュリティ

更新	説明
"オンボードキーマネージャとデュアルレイヤ暗号化"	ASA R2システムは、オンボードキーマネージャとデュアルレイヤ（ハードウェアとソフトウェア）暗号化をサポートしています。

## ASA R2システムに影響するONTAPの制限とデフォルトの変更

ASA R2システムに影響する制限とデフォルトの変更について説明します。NetAppは、ONTAPの各リリースで最も重要なデフォルトと制限の変更をお客様が理解できるように努めています。

### ONTAPの制限に対する変更

機能	セイケンヘンコウ	リリースで変更...
クラスターあたりのストレージVM数	HA ペアごとにサポートされるストレージ仮想マシン (VM) の最大数は 32 から 256 に増加されました。	ONTAP 9.18.1
SnapMirrorアクティブ同期	SnapMirror アクティブ同期のサポートが、2 ノード クラスタから 4 ノード クラスタに拡張されました。	ONTAP 9.18.1
クラスタあたりのノード数	<p>クラスタあたりの最大ノード数が2から12に拡張されました。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">  クラスタ内の3つ以上のノードでONTAP 9.16.1を実行している場合、ONTAP 9.16.0にリバートすることはできません。 </div>	ONTAP 9 .16.1
ストレージユニット	ストレージユニットの最大数がHAペアあたり2500個からHAペアあたり10、000個に引き上げられました。	ONTAP 9 .16.1

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。